

科目名		授業形態	担当教員名	
老年期作業療法		講義	小田 佳子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
高齢化に伴い、疾患や障害像が多様化しており、作業療法のニーズが高まっている。ここでは、一般的高齢者の特徴を学んだ後、加齢に伴う疾患や障害の特徴、作業療法の評価、目的、方法を学ぶ。特に近年急激に増加している認知症について医学的知識を深め、作業療法士の役割を学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 高齢者の一般的特徴を説明できる 2. 高齢者の作業療法を説明できる 3. 認知症の作業療法について理解し一部を実践できる 4. 高齢者の姿勢に対するアプローチについて説明ができる 5. 疾患とリスクについて説明できる 6. 排尿障害について説明できる 7. 廃用性症候群について説明できる 8. 認知症の特徴や症状を理解し説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	高齢期社会の特徴 老年期の特徴加齢に伴う生理的变化			
2	老年期の特徴 加齢に伴う運動器の変化			
3	老年期疾患の特徴とリスク管理--内部障害			
4	老年期疾患の特徴とリスク管理--神経疾患 運動器疾患			
5	認知症 医学的知識 分類と特徴			
6	認知症の評価			
7	認知症高齢者との関わり方			
8	認知症の作業療法の実際 認知症予防について			
9	排泄障害 解剖学的知識の整理			
10	排泄障害と対応			
11	廃用性症候群について			
12	廃用性症候群の作業療法			
13	高齢者の評価			
14	高齢者の姿勢の特徴と対応・車いすシーティング			
15	老年期作業療法のみとめ 介護予防における作業療法			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	上記授業内容に応じた試験により評価を行う		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 老年学 第4版	大内尉義		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第4版	川平和美		医学書院	
標準作業療法学 高齢期作業療法学 第3版	松房利憲		医学書院	
自由記載				
備考				
自ら進んで日頃から、高齢の方と接する機会を持つこと				